日本再生医療学会
「中高生のためのセッション」企画・運営

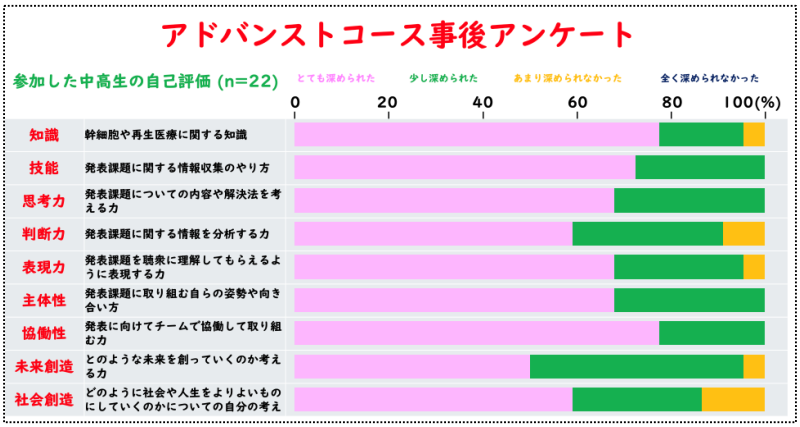
養護教諭養成課程　　教授　　石原　研治

「中高生のためのセッション」とは？

日本再生医療学会において，研究者だけではなく，全国の中学生・高校生が参加し研究者と交流できる場「中高生のためのセッション」を設け，２０１７年度からその企画・運営をしています。

「再生医療」という言葉にとらわれず，科学・医療の在り方，将来の社会の在り方など，中高校生の自由な発想を大切にし，考えを発表してもらいます。

アドバンストコースに参加してくれた生徒さんへのアンケート結果では，文部科学省が総合的な探究の時間等で求めてる要素のを深められたという結果が得られました。



取り組みが新潟日報で取り上げられ記事となりました

2024年３月 14 日　新潟日報

理解深めより身近に

中高生セッション

「中高生のためのセッション」では、全国の中高生がポスター発表やプレゼンテーションなどを通じ、再生医療に関する学習成果やアイデアを披露する。企画した茨城大学教育学部の石原研治教授は「自分なりの考えや気づきを進路選択などに生かしてもらいたい」としている。

セッションは2017年に始まり、今年で7回。再生医療を通じ、科学や社会課題などを多方面に目を向けてもらおうと、石原教授を中心に企画している。

石原研治・茨城大教授

学びやアイデア披露

アドバンスト、ベーシック、作文の三つのコースを設け、全国の中高生が参加。ベーシックコースは、新潟、新潟南、新発田などの高校のグループが、「再生医療」や「再生医療」に広く関わる科学・調査研究を求めるテーマに作文を募集。新潟高1年の板垣陽栄さんを含む6人の受賞が決まって

特徴的なのが、チーム制。テーマに関する研究と何を組み合わせるべきかを理論的に発表。事前審査を通過したチームが参加でき、学会運事が知識や

中高生のためのセッション

新潟高3年、神長由里さんが手掛けた中高生セッションのポスター

をテーマに作文を募集。新潟高1年の板垣陽栄さんを含む6人の受賞が決まって

特徴的なのが、チーム制。テーマに関する研究と何を組み合わせるべきかを理論的に発表。事前審査を通過したチームが参加でき、学会運事が知識や

アドバンストコースは「心・Compass・ion（コンパッション）」をテーマに作文を募集。新潟高1年の板垣陽栄さんを含む6人の受賞が決まっており、総会で表彰式を行う。

とにプレゼンテーションする高校のアドバンストコースだ。

科学や社会のニーズに応えるために骨細胞や再生医療

最終発表の前に、チーム同士での質疑応答や意見交換の場を設けた。発表内容を磨き上げるとともに、「個人やチーム、チーム外の人と新しいものをつくり上げる経験」をしてもらうのが狙いだ。

過去には、セッションをきっかけに医師を目指し、医学部に進学した参加者もいるという。石原教授は「セッションで感じたことや学んだことを生かして目標を持ち、いつか研究者として学会に戻ってきてもらえたらうれしい」と話した。

日本再生医療学会のもとで企画・運営をしています。

- ◆ 学会とは，研究者が自己の研究成果を公開発表し，検討・論議する場です。
- ◆ 再生医療の分野でも最先端研究の研究者が集まる学会「日本再生医療学会」があります。
- ◆ 全国から審査を勝ち抜いた中高生の皆さんと共に以下を開催しています。
  - アドバンストコース（プレゼン）
  - ベーシックコース（ポスター）
  - 作文コース（作文）

興味ある方は